

DDW-Japan 2002 アンケート調査報告

DDW-Japan 2002 運営委員会

- 第44回 日本消化器病学会大会
会長 小林 健一 (金沢大学大学院医学系研究科消化器内科)
- 第64回 日本消化器内視鏡学会総会
会長 税所 宏光 (千葉大学大学院医学研究科腫瘍内科学)
- 第6回 日本肝臓学会大会
会長 石井 裕正 (慶應義塾大学医学部消化器内科)
- 第40回 日本消化器集団検診学会大会
会長 伊東 進 (徳島大学医学部臓器病態治療医学)
- 第33回 日本消化吸収学会総会
会長 岡田 正 (大阪府立母子保健総合医療センター)

DDW-Japan 2002(日本消化器関連学会週間)横浜は、5学会参加での開催となりました。各学会長の先生、運営委員の先生方、および事務局をはじめとする多くの関係各位のご協力のお陰を持ちまして、過去に類をみない13,905名の参加者をお迎えし、盛會裡に学会を終了することが出来ました。

今回も例年同様にアンケート調査を致しましたところ、多数の参加者各位よりいろいろなご意見を頂戴致しました。DDW-Japan 2002全体については、58%以上の参加者が普通以上の満足度を示しております。また、現行のDDW方式については65%の先生より続行すべきのご意見を頂いております。しかし、一部の先生より各学会の日程および講演テーマに対する要望等の問題提起がされております。

今後より良い形でのDDW-Japanとするべく、各学会で連携を密にし、最善の努力を図って参りたいと考えております。参加者各位より一層のご意見、ご教示を賜りますようお願い致します。

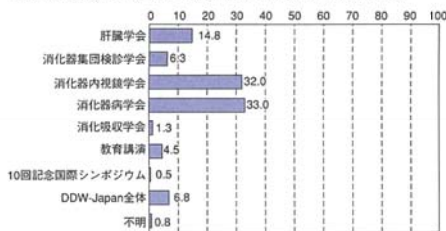
はじめに

DDW-Japan 2002(第10回日本消化器関連学会週間)は、2002年10月24日(木)から27日(日)までの4日間にわたり、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本消化器集団検診学会、日本消化吸収学会の5学会が参加して、パシフィコ横浜にて開催された。参加人数は13,905人となり、前回(13,007人)より約900名増加し、過去最高の参加者となった。今回、学会参加者に対して34項目のアンケート調査を実施したところ、679名より回答が得られた。その中で、主な医療機関別の内訳は、大学関係(199名 29%)、一般病院(298名 44%)、診療所(101名 15%)であった。以下にその主な項目を抜粋し、結果を報告する。

◆今回の学会を主な目的で参加しましたか(複数回答可)◆

目的とする学会の中でもっともその割合が高かったのは、図1に示すように、消化器病学会33.0%、つぎが消化器内視鏡学会32.0%、3番目は肝臓学会14.8%であった。以下、DDW-Japan全体を目的としたもの6.8%、消化器集団検診学会6.3%、教育講演4.5%、消化吸収学会1.3%の順だった。消化器病学会と消化器内視鏡学会の差はほとんどなかった。3番目の肝臓学会となると、前二者の半分をやや下回る程度である。

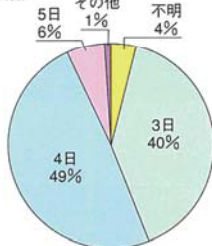
【図1】今回の学会を主な目的で参加しましたか(複数回答可)



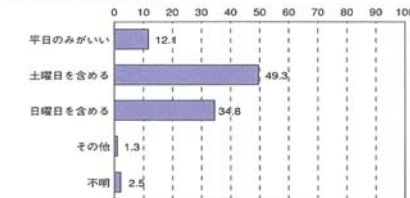
◆開催希望日数と曜日について◆

希望する学会日数は、4日(49%)または3日(40%)が多数を占めた。希望の曜日は、全体の84%が土曜日または日曜日を含めた開催を希望。特に、大学病院以外の一般病院または診療所に勤務している参加者からは、日曜日を含めた学会の希望が多かった。

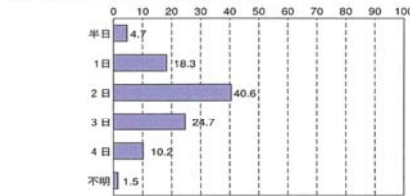
【図2】開催の希望日数



【図3】開催曜日について



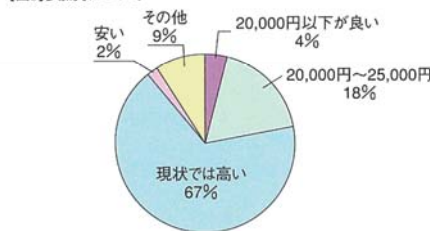
【図4】開催期間中何日出席されましたか



◆参加費について◆

全体の67%が現状(25,000円)の参加費は高いと感じていた。これには、1または2学会のみの参加者が多い(全体の58%)ことが原因として考えられる。1日券または2日券を発行するなどの意見もあった。参加費の問題は例年提起されることだが、合同学会としての趣旨を考慮すれば一律の参加費はやむを得ないものと考えられる。

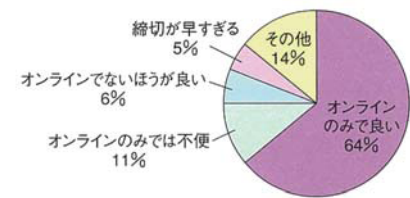
【図5】参加費について



◆事前参加登録のオンラインシステムに関して◆

本年度から事前参加登録をオンラインのみに切り替えた。64%が本システムに賛成であり、オンラインのみでは不便(11%)、オンラインでないほうが良い(6%)との意見もあった。他学会の多くも本システムを採用しており、今後もオンラインシステムが主流になるとと思われる。

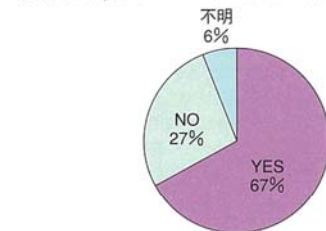
【図6】今年から事前参加登録をオンラインのみに切り替えたことについて



◆ホームページについて◆

67%がホームページを利用しており、その操作性やアクセスに関して特に問題は指摘されなかった。具体的な意見として、更新の回数を増やし、最新情報を得られるようにして欲しい、一般演題(ポスター発表)の詳細も掲載して欲しい、などがあつた。

【図7】DDW-Japanのホームページにアクセスしましたか



◆会場について◆

事前に各学会間で協議し、参加人数を予測したうえで会場を決定したが、会場自体の収容人数の問題もあり、今回も席が足りなかったセッション、空席が目立ったセッションがあつた。これは例年指摘されている問題であるが、話題性の多いセッションが重ならないようなプログラム上の工夫や、発表会場外でのテレビ映像による参加方法の充実などを更に検討する必要があると思われる。

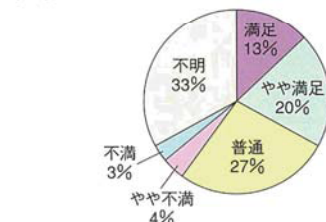
◆演題全体について◆

シンポジウムやワークショップなどの主題数については約半数が適切と回答しているが、多い、やや多いとの回答が計33%みられた。

◆コンピューター発表について◆

コンピューターを用いた発表は、満足(13%)、やや満足(20%)、普通(27%)とほぼ肯定的な意見が多く、不満およびやや不満は計7%と少数であった。ただ、「セッティングに時間がかかりすぎ」、「演者交替がうまくいかなかった」、「CDやMOでの発表も可能にして欲しい」との意見があつた。また、「スライド発表も認めて欲しい(64%)」との意見より多かつた。時代の趨勢として今後コンピューターによる発表が主体になるとと思われるが、これらの意見を参考にして、より円滑な進行が可能ないように改善していく必要がある。

【図8】コンピューター発表について

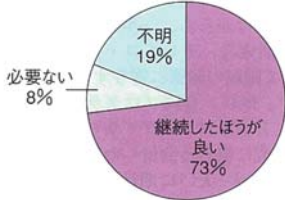


DDW-Japan 2002 アンケート調査報告

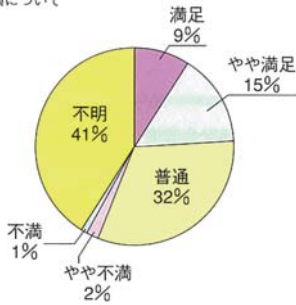
◆合同セッションについて◆

合同セッションは、「継続したほうが良い(73%)」が、「必要ない(8%)」に比較し、圧倒的に多かった。具体的な希望セッションは、教育講演(41%)、主題(32%)、合同プレナリー(27%)の順であった。教育講演については、「プログラムが最終日に集中したため参加できなかった」、「複数の日に行って欲しい」との要望が多かった。実際、最終日の午後の教育講演は参加者も少なかったが、その講演内容を評価する意見が多かっただけに惜しまれる。今後の検討課題であろう。

【図9】合同セッションについて



【図10】教育講演について



◆ランチョンセミナーについて◆

満足(13%)、やや満足(20%)、普通(28%)とおおむね好評であった。ただ、具体的な意見の中では、「会場が狭すぎる」、「席が少ない」、「あらかじめアンケートをとって定員を調節すべき」などがあった。これは例年提起される

問題ではあるが、主催側の意向もあり、ある程度の不都合は致し方ないのではないかとと思われる。

◆サテライトシンポジウムについて◆

満足(8%)、やや満足(14%)、普通(28%)となり、やや不満(4%)、不満(1%)に比較し好意的な意見が圧倒的に多かった。また、講演内容を評価する意見が多くみられた。

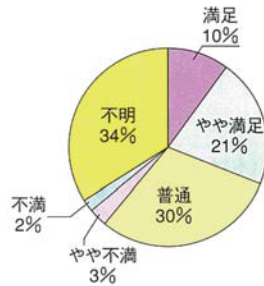
◆託児所および休息所に関して◆

託児所は82%が必要と答えた。要望として、「当日の申し込みでも利用できるようにしてほしい」、「事前の情報がわかりにくかった」などがあった。休息所は、回答者のうち約60%が普通以上としているが、具体的な要望として、禁煙の徹底およびドリンクサービスの充実などがあった。

◆会場の運営全般について◆

満足(10%)、やや満足(21%)、普通(30%)は計61%と、やや不満(3%)、不満(2%)の計5%に比較し圧倒的に満足度は高かった。ただ、具体的な指摘として、スライドのピントの不備、ポスター会場でのマイクの不備、トラブル発生時の対応の不備などがあり、今後の反省材料とすべきである。また、全面的に禁煙とすべきとの意見が多くあり、時代の趨勢として当然のことであろう。

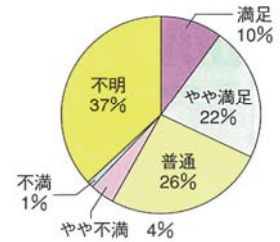
【図11】会場運営全般について



◆今回のDDW全体の満足度について◆

満足(10%)、やや満足(22%)、普通(26%)は計58%と、やや不満(4%)、不満(1%)の計5%に比較し満足度は高く、主催者側として喜ばしい結果となった。また、65%が現行のDDW方式を続行すべきとの意見であった。

【図12】今回のDDW全体について



◆その他の意見からの抜粋◆

この欄にも多くの意見をいただいた。主な点をまとめると、会場のcapacityの問題、コンピューター発表の円滑化、全面禁煙の希望、会場案内の不備などであった。また、開業医の方々から、土・日曜日の開催をぜひ続けて欲しいとの希望が多く寄せられた。それぞれの立場や専門分野の違いもあり、現行のDDW-Japanに対する希望をすべて実現させることは不可能である。しかし、今回のアンケートにより、われわれの努力で改善できる点もいくつか明らかになった。

貴重なご意見をありがとうございました。

